初詣は地元の神社で

初めて巫女が奉仕

新装なった延喜式内林神社に、今年の正月初めて巫女が登場し、厳かな中にも華やいだ歳旦祭が執り行われました。地元頼成の女子高校生七人が白衣に紅袴のきりりとした巫女姿で、神事や縁起物の頒布に奉仕しました。

2005年12月25日　北日本新聞

巫女の登場ということもあって元旦初詣の人出も例年に比べて非常に多く零時過ぎには参道が混み合うほどでした。五時から歳旦祭が催行され多数の氏子が参列し新年を寿ぎました。赤々と篝火の揺らめく境内では、破魔矢、熊手、お守り札などの縁起物の頒布もあり、新装なった林神社に相応しい華やかな初詣となりました。

いかるぎの今昔 ③

頼成青年会館

中頼成バス停にかつて頼成青年会館がありました。これは昭和三年頃当時の青年会長板東正治さんらが、各家の山の木を拠出し、開田菊松さんら地元の大工さんの力で造られたものです。一階は会議室など二室、二階は大広間で、向かって右側に消防屯所、左側に駐在所が併設されていました。

戦前は青年たちの活動の拠点として大いに活用されましたが、戦後青年団活動が勢いを失うとともに会館も手入れが行き届かなくなり、昭和三十年頃とうとう廃館されることになり姿を消しました。

この写真は落成式当日のもので見事な祝賀門も青年たちの手作りでした。この一枚の写真からもかつての頼成の若者の、溢れるようなエネルギーを感じ取ることが出来ます。

慶弔

林　満　様
一月二日死去
享年数え年七十七歳

八田外二　様
一月十三日死去
享年数え年八十一歳

林をちい　様
一月十四日死去
享年数え年九十八歳

謹んでご冥福をお祈りします

２月行事予定

★１　日　定例役員会
★１８日　講演会（般老連・高齢者学級共催）
講師　前富山県教育長
飯田宗映　先生
兼・般若地区高齢者学級の閉講式）

講演のご案内

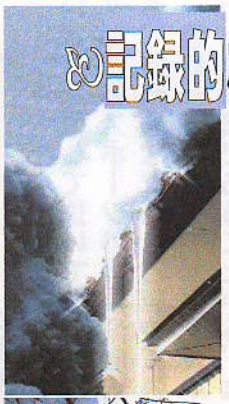
２月１８日（土）１３：３０　般若農業構造改善センター

講師　**飯田　宗映**　先生

県立高校長、富山県教育委員会教育長、富山県生涯学習カレッジ学長などを歴任。高岡市早川法泉寺住職

よいお話が聞けます・誘い合わせ是非ご聴講下さい。

記録的な厳冬・大雪



今年の年末年始は記録的な厳冬・大雪となりました。１月８日現在で約１米、降り始めからの累積では２米を超えました。気温も零下５度を記録するなど寒さも厳しく１米を超す大ツララが下がりました。新潟の津南町など積雪４米を超えあるところもありました。

鵤木（いかるぎ）

あなたの家の家計がもし。年間収入五百万円、支出八百万円、借金七千万円。借金の年金利二百八十万円だったとしたら。今の日本の財政を分かりやすく家計に例えた数字です。にも関わらず民間銀行の破産、無礼この上ない中国や北朝鮮への経済援助などに膨大な庶民の血税を惜しげもなく投入。その上、政府要人は外遊の度に、まるで自分のポケットマネーでも出すように気前のよい大盤振る舞い。馬鹿にされても虚仮（こけ）にされても人道支援という名さえ付ければ、どんなに多額の出費も惜しまない。わが日本という国はなんと鷹揚で寛大な国なのでしょう。

法隆寺の国宝玉虫の厨子の側面に「捨身飼虎」という絵があります。飢えてまさに我が子を食い殺そうとしている親虎のために、我が身を投げ捨てて、子虎の命を救う釈尊の姿を描いたものです。

今の日本はまさにその釈尊のようではありませんか。でも私たちは生身の人間で釈迦ではありません。時の為政者のこんな独りよがりの自己満足が、果たして私たちの子や孫に、幸せな未来をもたらしてくれるのでしょうか。